

知ってもらいたいこと

《東広島市のごみ処理》

令和元年度実績

1年間のごみ総排出量
64,195 t

燃やせるごみ
51,151 t

燃やせる粗大ごみ
4,584 t

燃やせない粗大ごみ
2,442 t

ビン・缶
2,138 t

ペットボトル
192 t

リサイクルプラ
1,412 t

新聞・雑誌・ダンボール
1,323 t

古布・古着
76 t

有害ごみ
41 t

埋立ごみ
836 t

焼却施設

搬入されたごみを高温で焼却します。

選別施設

施設に搬入後、選別及び破碎など中間処理されます。再資源化不適合物は焼却または埋立処分されます。

再資源化業者

鉄、スチール缶、アルミ、リサイクルプラ、ペットボトル、カレット（ビン）、新聞、雑誌・雑がみ、ダンボール、古布・古着など分別されて出されたものや施設で選別されたものは売却されます。

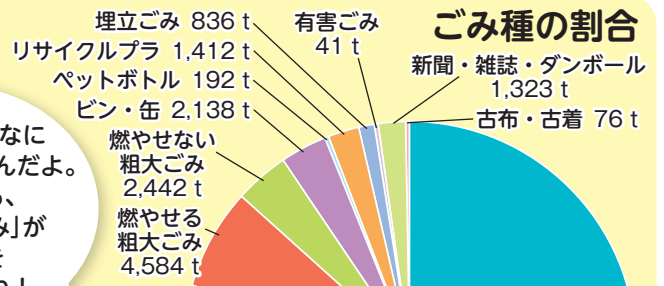
最終処分場

焼却後の灰や埋立ごみ、破碎後の再資源化できない粗大ごみなどを埋立します。（R3. 9月まで）

R3.10月～供用開始の広島中央エコパークは、処理物すべてを再資源化するから、最終処分量はゼロになるよ！

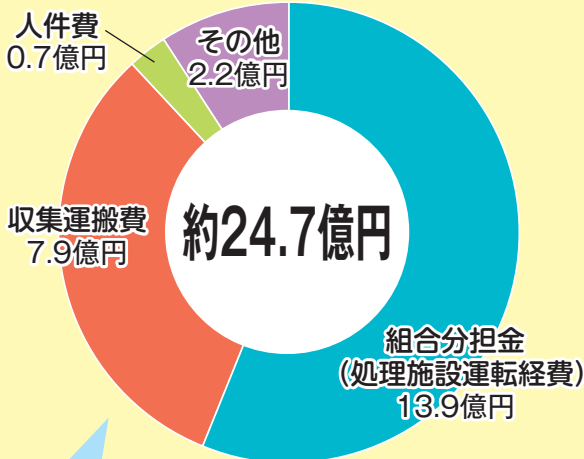
処理業者（無害化処理）

保管



燃やせるごみ
51,151 t
約80%

ごみ処理費用（令和元年度）



1年間で1人あたり、ごみの処理にかかるお金は
約**13,100円**

ごみ減量目標

数値目標

- 市民1人1日当たりのごみ排出量 **850g**
令和元年度 961g ⇒ 令和6年度 **850g**
- 資源化率 **24%以上**
令和元年度 10% ⇒ 令和6年度 **24%**

3R(リデュース・リユース・リサイクル)推進でごみを減量

- 必要なものを必要な量だけ買い、修理して長く使用
- マイバッグを使用し、過剰包装の拒否
- 生ごみの水切りを徹底
- リサイクルショップの活用
- きちんと分別（混ぜればごみ、分ければ資源）
- お店や地域の資源回収を利用